

平成28年 第1回

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

会議録

平成28年4月25日 開会

平成28年4月25日 閉会

渡島西部広域事務組合議会

会議録の作成にあたっては、誤字・脱字等に十分注意しましたが、時間の関係上、印刷原稿の校正は、初校しか出来ませんでした。

誤りのある場合は、誠に恐縮ですが、ご理解いただきたくお願いいたします。

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

委員長 又地 信也

平成28年 第1回

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

平成28年4月25日（月曜日）

◎会議に付した事件

調査事件 し尿処理施設整備状況に関する調査について
（ストックヤードの整備について）

◎出席委員（11名）

委員長	又地 信也（木古内町）	委員	堺 繁光（松前町）
委員	佐藤 孝男（福島町）	委員	福嶋 克彦（木古内町）
委員	手塚 昌宏（木古内町）	委員	花田 勇（福島町）
委員	成澤 五郎（知内町）	委員	西村 健一（松前町）
委員	谷口 康之（知内町）	委員	伊藤 幸司（松前町）
委員	伊藤 政博（知内町）		

◎欠席委員（0名）

◎職務のため議場に出席した議員（1名）

議長 溝部 幸基（福島町）

◎出席説明員（17名）

管 理 者	鳴海 清春	副 管 理 者	高木 壽
参 与	石山 英雄	参 与	大野 幸孝
幹 事	若佐 智弘	幹 事	網野 眞
幹 事	大野 泰		
監 査 委 員	本庄屋 誠	会 計 管 理 者	西田 啓晃
事 務 局 長	中島 和俊	消 防 長	高田 豊
衛生センター長	鳴海 英人	松前消防署長	鍋谷 悟
福島消防署長	中島 昌彦	知内消防署長	野戸 英二
木古内消防署長	伊藤 則幸	消防本部主幹	住吉 竜大

◎欠席説明員（1名）

参 与 大森 伊佐緒

◎職務のため議場に出席した議会事務局職員（3名）

書 記	梅岡 忍	書 記	岩本 一成
書 記	鳴海 千草		

◎開会・開議宣告

○委員長（又地信也）

ただいまから会議を開きます。

ただいまの出席委員は12名で、半数に達しており、会議は成立いたしました。

よって、平成28年第1回し尿処理施設整備に関する調査特別委員会を開会いたします。

本日の会議の進め方について、お諮りいたします。

本件に係る資料については、委員各位のお手元に事前に配付されておりますので、資料に基づいて説明を受けたいと思います。

その後、委員各位から質疑及び意見交換を行いたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（又地信也）

ご異議なしと認めます。

よって、ただいまお諮りいたしましたとおり、会議を進めることに決定いたしました。

◎管理者あいさつ

○委員長（又地信也）

案件の調査に入る前に、管理者より申し出がありますので、挨拶を行います。

鳴海清春管理者。

○管理者（鳴海清春）

平成28年第1回し尿処理施設整備に関する調査特別委員会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

委員各位には、調査特別委員会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。

本日の調査事件は、「し尿処理施設整備状況に関する調査について」となっており、予てより議論いただいております、ストックヤード整備に関する調査をしていただくこととなります。

なお、ストックヤードの整備に関しましては、前回の調査特別委員会において、事業内容の変更に関して、一定程度ご理解をいただいておりますが、この度、施設の概要や事業費等がまとまりましたので、再度、内容等のご審議をお願いするものであります。

当組合の構成四町の人口が減少する中で、広域行政本来の目的であります事務の効率化に努め、経済的な軽減を図ることを目指した提案となっております。

この後、調査事件の内容等に関しまして、担当者から詳しく説明いたしますので、何卒ご審議方よろしくお願ひ申し上げます。

開催にあたりまして、簡単ではありますが、ご挨拶といたします。

よろしくどうぞ、お願ひいたします。

○委員長（又地信也）

管理者の挨拶を終わります。

◎調査付託事件 し尿処理施設整備状況に関する調査について
(ストックヤードの整備について)

○委員長（又地信也）

これより案件の調査を行います。

し尿処理施設整備状況に関する調査について、内容の説明を求めます。

鳴海英人衛生センター長。

○衛生センター長（鳴海英人）

内容を説明いたしますので、会議資料の1ページを、お開きください。

ストックヤードの整備について

1 実施設計の内容について

平成27年12月4日開催の第1回調査特別委員会において、リサイクル品の保管スペースを確保するという施設本来の目的を重視し、保管スペースを直線的に配置した長屋式に変更するとともに、建築費の削減を進めたい旨を説明し、特別委員会のご了解をいただいたところです。

このたび、設計内容がまとまりましたので、ご報告いたします。

(1) 整備面積について

建物面積については、昨年度第1回特別委員会で報告した変更前の面積434.93㎡が、変更後は276.39㎡の予定で、差し引き158.54㎡の縮小となる見込みです。

また、外構工事面積についても、前回の4,642㎡が3,822㎡となる予定で、820㎡の縮小となります。

外構工事の内訳は記載のとおりですが、舗装工事において、建屋の形状見直しに伴い、建物周辺の舗装範囲の縮小を予定しているところです。

次に、(2) 事業費について

工事費については、変更前は1億2千786万2千円と報告していましたが、変更後の予定額は、1億970万円で、1千816万2千円の事業費の圧縮を見込んでおります。

内訳は、建物が1千2万4千円の減、外構工事が813万8千円の減です。

施工監理に係る委託料は、前回の496万8千円に対して385万円となり、111万8千円の減額となります。

また、補正予定額との整合性を図るため、前回は事業費に入れなかった工事完了検査手数料2万6千円を、「3手数料」として合算しました。

以上により、施設形状見直し後の事業費の合計は、1億1千357万6千円と見込んでいるところです。

なお、手数料を除く事業費は、変更前の1億3千283万円に対し、変更後は1億1千355万円と、1千925万4千円の事業費の削減を見込んでおります。

また、変更後の工事費の算出に当たっては、当事業の推進に関し、事務協定を締結している福島町役場及び設計会社と協議の上、設計金額に対し、物価上昇率3%に当たる320万円を見込み、工事費を算出したところです。

上昇率加算額と変更前の設計額を比較すると、2千136万2千円の減額予定であります。

次に、図面により、施設の配置と、建物の概要を説明します。

4ページを、お願いいたします。

4 ページは、施設全体の配置平面図です。

上が国道で、右側が知内町方面、左側が福島町方面です。

図面中央の黄色に斜線が、ストックヤードの建屋で、建屋面積は 276.39 m²となる予定です。

建物周辺の薄い青色部分が側溝整備で、側溝の内側及びリサイクルプラザ側の一部が舗装範囲となる予定です。

図面上部の国道側の黄色部分が、公園です。

公園と汚泥再生処理センターの間の緑部分と階段部分、これが国庫補助事業対象外として整備を予定しております。

また、敷地左下には、パッカー車等の洗車場を予定しています。

5 ページを、ご覧ください。

5 ページの図面は、ストックヤードの立面図及び断面図等です。

建物は、国道側を正面とし、7 種類のリサイクル品の保管場所に、それぞれ電動シャッターを設置する予定です。

リサイクル品の保管場所は、向かって左から、知内町方面から順に、ダンボール、ペットボトル、プラスチック類、3 種類のビン類、一番右がスチール缶と書かれていますが、ここにはアルミ缶も一緒に入る予定であります。

一番左側のダンボールのシャッターだけが、他のシャッターより高い理由は、パッカー車の作業に必要な高さを確保するためのものです。

それでは、1 ページ目にお戻りください。

2 事業費の補正予定額及び財源内訳について

今年度のストックヤード整備に向け、次のとおり工事費等の補正予算を予定しておりますので、よろしくをお願いします。

2 ページを、お願いいたします。

(1) 補正予定額について

4 目ごみ再生処理施設費として、予算科目を新設する予定です。

12 節役務費として、建築物工事完了検査手数料 2 万 6 千円、13 節委託料として、ストックヤード建設工事施工管理業務委託料 385 万円を、15 節工事請負費として、ストックヤード建設工事費 1 億 970 万円、合計 1 億 1 千 357 万 6 千円を補正しようとするものです。

次に、(2) 財源内訳について

始めに、ページの一番下を、ご覧ください。国庫補助対象外事業費等について、説明します。

この事業は、工事費の 2.5%以内の事務費が補助対象事業費として認められています。

※印の補助対象事業費 1 億 1 千 40 万円は、工事費の 1 億 970 万円から補助対象外となる法面及び階段工事費 190 万円、また、完了検査手数料 2 万 6 千円の合計 192 万 6 千円を差引いた 1 億 780 万円に、事務費として認められた 2.5%以内、260 万円を加算したものです。

なお、補助対象事務費 260 万円については、委託料 385 万円に充当する予定です。

それでは、(2) 財源内訳について、説明いたします。

国庫補助金は 3 千 680 万円で、補助対象事業費 1 億 1 千 40 万円の 3 分の 1 が、循環型社会推進交付金として交付される予定です。

過疎債の予定は7千660万円で、補助金の残です。

過疎債は、国庫補助対象外経費も含んでおりますが、10万円単位での申請となるため、残りの17万6千円が衛生負担金となります。

(3) 構成町の負担状況について

構成町の負担割合については、平成28年度のごみ再生処理費の按分率を適用しております。

それぞれの町ごとの負担状況は、表に記載のとおりです。

3ページを、お願いします。

3 スtockヤード整備に係る今後の予定について

今後の予定については、ただいまの調査特別委員会での報告に基づき、審議の上、了承をいただきましたら、引き続き開催予定の第1回臨時会で、事業費の補正をお願いするものです。

また、臨時会終了後には、指名選考委員会の予定であります。

次に、明日26日には、指名業者に対し、特定建設工事共同企業体の編成通知を行う予定です。

5月中旬に、現場説明会を予定しております。

6月上旬には、建築確認済証の受理を予定しており、6月中旬に、入札執行並びに仮契約をしたいと考えております。

入札後、6月下旬、場合によっては7月上旬に第2回臨時会をお願いし、契約議決をいただき、本契約の予定としております。

現在のところ、工事期間は7月から11月末までの5ヶ月程度で、完成に伴う関係書類整備も含め12月下旬頃までの工期設定を見込んでいます。

以上で、説明を終わります。

よろしく申し上げます。

○委員長（又地信也）

説明が終了しましたので、これより質疑を行います。

質疑ございませんか。

○委員長（又地信也）

9番、伊藤君。

○9番（伊藤政博）

9番伊藤です。資料の5ページです。

最初、スチール缶と見たときは、アルミ缶は、どうするのかなと思ったのですが、今の説明ですと、同じ場所だということですが。

それで、具体的に、それぞれペットボトルからスチール缶まで、どんな形態で保管しておくのか、まずはそれを、お尋ねしたいんですが。

特に缶ですね。アルミ缶とスチール缶と、どんなふうな分別の形態で保管して置くのか。

そして、出庫の際、それが一緒の場所で、作業効率はどうなのかと、この点、お尋ねします。

○委員長（又地信也）

センター長。

○衛生センター長（鳴海英人）

ご説明いたします。

まず、これらの区分につきましては、ダンボールはパッカー車で搬入して、まず、ヤードの中に山積み

に貯めて、ある程度貯まりましたら、だいたい週に1回ぐらい業者さんが取りに来ますので、そのサイクルで貯めて行きます。

それから、ペットボトルにつきましては、完全に圧縮した形です。ね、結束して、圧縮して、山積みにして行きます。

それから、プラスチックにつきましては、ペットボトルと同じような形状で保管します。

それから、多色ビン、茶色ビン、無色ビンにつきましては、ビンをですね、粉砕した形で、ストックヤードの中に蓄積して、量が貯まりましたら搬出業者が取りに来ていただくという形です。

それからスチール缶とアルミ缶につきましては、だいたい60cmぐらいのプレスした形です。ね、スチール缶とアルミ缶と両方、右と左に分けるような形で、これも月に1度ぐらい取りに来ますので、保管場所としては、それほど多くの面積を必要としないところであります。

以上です。

○委員長（又地信也）

外に。

（「なし」との声あり）

質疑なしと認め、質疑を終了します。

◎継続調査の議決

○委員長（又地信也）

お諮りいたします。

本日の会議はこの程度に止め、ただいま議題となっております本調査は、更に調査が必要と思われるので、継続調査をすることとしたいと思っておりますが、これにご異議ございませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（又地信也）

異議なしと認め、本件については継続して調査することに決定いたしました。

◎閉会宣告

○委員長（又地信也）

これで、本日の会議を閉会いたします。

ご協力、ありがとうございました。

（閉会 午後2時32分）

渡島西部広域事務組合議会特別委員会条例第22条の規定により署名する。

し尿処理施設整備に関する調査特別委員会

委員長 又 地 信 也